

野洲市生涯学習振興計画 第2期 分野別行動目標（令和2年度） めざす姿：「次代の地域の担い手の育成 ～豊かな地域社会に～」 施策方針（3）学びを通じてつなげる機会づくり

分野 項目	図書	歴史	人権	スポーツ（生涯スポーツ）	芸術・文化	地域・学校との協働	
分野別の主な取組 P22・23	<ul style="list-style-type: none"> ボランティア団体等が自主的に活動できるように、学校・図書館・地域のコミュニティセンター等と連携します。 図書館を住民の居場所としても利用してもらえるように環境を整えます。 	<ul style="list-style-type: none"> 展示や講演会を通して地域の歴史や文化を学ぶことにより、次代の担い手づくりをめざします。 	<ul style="list-style-type: none"> 人権問題の早期解決を図るために、啓発冊子を作成し、全世帯、学校、企業等に配布します。 各自治会の人権教育推進員への研修会やじんけんセミナーを開催し活動を支援することで、地域に即した効果的な啓発を実施します。 	<ul style="list-style-type: none"> 各種スポーツ教室を開催することで、参加した人が多くの人との交流を深めることめざします。 市民のさまざまなスポーツの推進を担っている、市内スポーツ団体の活動を支援するとともに、障がい者スポーツの普及啓発も支援します。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の音楽関係者等との協働等により、若者等への音楽の広がりや文化の向上・芸術の振興をめざします。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域教育協議会や学校応援団の活動を通じた世代間の交流やつながりにより、地域の子どもの育成へとつなげます。 	
令和二年度の主な取組	<ul style="list-style-type: none"> 図書館で貸館として開催される集会事業について、必要な場合は資料の特設コーナーを設置します。 施設の整備として館内のLED化をすすめます。（野洲図書館） 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き魅力ある展覧会や講演会の開催に努めるとともに、「まちかど博物館」の開催等、博物館友の会とも連携し、地域や世代間の交流を図ります。（歴史民俗博物館） 発掘調査では、機会を見て現地説明会を開催し、博物館で成果を展示公開します。 永原御殿や大岩山古墳群、指定文化財など野洲市が誇る文化遺産を素材に、観光・環境団体や自治会・小中学校と連携・協力し、学び活かす機会の充実を図ります。（文化財保護課） 	<ul style="list-style-type: none"> さまざまな人権課題をテーマとすべく、さまざまなまちに第17集を編集、発行します。 人権教育推進委員へのじんけんセミナーを開催するなど人権教育推進員の活動を支援します。また、各自治会のニーズにあった自主的な地区別懇談会の開催を支援します。（人権施策推進課） 	<ul style="list-style-type: none"> 各種スポーツ教室等は、多くの人に受講していただけるように努めながら開催します。新たにオープンする（仮称）野洲市健康スポーツセンターにおいては事業者によりスイミングやフィットネスなどの教室が広く募集される予定です。（スポーツ施設管理室） 今年度もニュースポーツバイクやストックウォーキングを希望が丘文化公園とともに開催することでつながりを広げ、魅力のあるものとし市民の参加拡大につなげます。（生涯学習スポーツ課） 	<ul style="list-style-type: none"> 県内高等学校軽音楽部出演の「軽音コンテスト」や地元吹奏楽団と協働し公演を開催します。（野洲市文化ホール） 野洲文化芸術祭においては、共催である文化協会と協力して広く情報発信を行うとともに、広く市民が参加しつながりを持ってさらに創意工夫していきます。（生涯学習スポーツ課） 	<ul style="list-style-type: none"> 地域教育協議会の活動を支援し地域子ども教室で、世代間の交流やつながりにより、地域の子どもの育成へとつなげます。（生涯学習スポーツ課） 学校応援団事業の充実を図ります。（学校教育課） 	
実績・評価	<ul style="list-style-type: none"> 施設の特設コーナー他機関等との連携展示回 施設のLED化 本館開架室の9割が完了（野洲図書館） 	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の影響をうけ、中止や内容変更を余儀なくされた展覧会等もありました。博物館友の会との共催事業も同様でしたが、定期的な意見交換の場を通して、地域に貴重で魅力ある歴史や文化が数多くあることを認識し、今後の運営や企画において連携を図る重要性を理解していただく機会となりました。（歴史民俗博物館） 文化財防ぎょ訓練（小南来迎寺） 1/23 46人 永原御殿跡発掘調査現地説明会 2/27 171人 歴史民俗博物館友の会・まちかど博物館史跡公園散策 11/3 25人（文化財保護課） 	<ul style="list-style-type: none"> すてきなまちに第17集において、「部落差別問題・インターネットと人権」をテーマとして作成・発行し、全戸配布を行いました。 地区別懇談会については、新型コロナウイルス感染症対策として、開催を中止する自治会が多くありましたが、開催する自治会には、講師の派遣等においてスムーズに開催できるよう支援を行いました。また、研修会形式だけでなく、自宅学習ができるように各種人権課題に関するチラシや資料を積極的に提供しました。（人権施策推進課） 	<ul style="list-style-type: none"> 各種スポーツ教室等に多くの人に受講していただくため、新聞折込チラシを発行し周知を図りました。 折込日 9月17日・12月17日（6月折込予定分は、新型コロナウイルス感染症の影響により折込中止） 発行部数 59,900枚 折込地域 野洲市・守山市の全域、栗東市・近江八幡市・湖南市の一部 野洲市健康スポーツセンターの開所より、事業者の開催するスクールやレッスンで、会員募集があり新たな交流と集い機会が提供されました。（スポーツ施設管理室） ニュースポーツバイク 6/27 新型コロナウイルス感染症の影響により、開催中止。 ストックウォーキング 11/23 48人 近江富士花緑公園、希望が丘文化公園にて、感染対策として参加者数を絞った上で開催。 新型コロナウイルス感染症で運動機会が減少しつつある中、市民に運動機会を提供することができました。（生涯学習スポーツ課） 	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍のため「軽音コンテスト」や「野洲ミュージックフェスティバル」を中止としました。（野洲市文化ホール） 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、野洲市文化協会との共催で実施している野洲文化芸術祭は中止。（生涯学習スポーツ課） 	<ul style="list-style-type: none"> コミュニティセンターを拠点とした地域子ども教室を通して、地域住民と地域の子どものつながる機会となりました。（生涯学習スポーツ課） 10月に学校応援団運営協議会を開催し、市内の取組の交流を行いました。またコミュニティスクールアドバイザーの高木氏をお招きし、県内の先進事例について研修を深めることができました。12月には地域コーディネーター6名と小学校長との懇談の機会を設け、意見交流を行いました。（学校教育課） 	
課題・検討	<ul style="list-style-type: none"> 資料の特設コーナー 今後も連携企画をすすめていきます。 施設のLED化 優先順位をつけてすすめます。（野洲図書館） 	<ul style="list-style-type: none"> 歴史や文化をわかりやすく親しみをもって学べる機会を提供し、次代に引き継いでいくように努めたいと思います。（歴史民俗博物館） 博物館をはじめ関係団体との連絡調整を図り、それぞれが実施する事業を効率的に運営するとともに、事前の広報に努めたいと思います。（文化財保護課） 	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の拡大状況によっては、次年度以降も地区別懇談会の開催が十分に行えない可能性もありますが、様々な角度から人権学習ができるような工夫が必要です。（人権施策推進課） 	<ul style="list-style-type: none"> スポーツ教室等を通して交流と集いの機会を提供するため、新聞折込チラシは広く周知できる手段として効果的に発行していきたいと思います。（スポーツ施設管理室） 新しい生活様式が求められる中での事業運営方法を検討しながら、引き続き希望が丘文化公園との協力で魅力ある事業実施に努めたいと思います。（生涯学習スポーツ課） 	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍の状況を考慮し、こどもたちのステージ上での活躍を支えます。（野洲市文化ホール） 野洲文化芸術祭において、市民がより参加しやすくなるよう、情報発信の方法等について検討し、事業の更なる活性化につなげる必要があります。（生涯学習スポーツ課） 	<ul style="list-style-type: none"> 地域教育協議会で、学区間の情報交換の機会や特色のある取組を紹介するなどして、活動の活性化を図りたいと考えます。（生涯学習スポーツ課） 市内の学校応援団組織を今後、どのようにコミュニティスクールに移行させていくのかが今後の課題です。（学校教育課） 	